

# かむいこたんマップ

神居古潭は、アイヌ語でカムイ(神)の居るコタン(集落、村)を意味しています。

## アイヌの伝承～魔神伝説～

神居古潭の険しい峡谷は丸木舟を使って移動していたアイヌの人々にとって交通の難所でもあり、特徴的な岩の形を魔神の姿に結び付け、魔神が住む危険な場所だと伝えてきました。

- ①むかし、神居古潭には、ニツネカムイという魔神が住んでいました。
  - ②ある日、ニツネカムイは、大きな岩を川に投げ込み、川の流れを止めて、上流に住むアイヌの人々の村を沈めようとした。
  - ③それを知った英雄の神サマイクルは、刀でニツネカムイに斬りかかりました。
  - ④ニツネカムイは、なんとか刀をかわしていましたが、とうとう首を斬られて退治されました。
- は、アイヌの伝説にまつわる場所を表しています。

Head of an Evil Spirit

### 魔神の頭

(ニツネカムイ・サバ)

現在地から約4,000m

※対岸から見るができます。



神竜頭首工  
Shinryu Weir

Body of an Evil Spirit

### 魔神の胴体

(ニツネカムイ・ネトバケ)

現在地から約4,000m



### Kamui Rock 神居岩

(クネシリ)

現在地から1,200m(徒歩約15分)

英雄神サマイクルの姿

※山道を登ります。

Steam Locomotive Exhibit

### SL展示

現在地から200m(徒歩約3分)



Old Lamprey Fishing Spot

### やつめうなぎとり岩

現在地から300m

明治初期に多くのやつめうなぎをとった所  
※近くで見ることができません。

神居大橋  
Kamui-ohashi Bridge

Verse Monument

Remembering Takeko Kujo

### 丸木舟子 歌碑

現在地から150m(徒歩約2分)

大正期を代表する女性歌人



Old Kamuikotan Railroad Station

### 旧神居古潭駅舎

現在地から200m(徒歩約3分)



Evil Spirit Footprints (Giant's cauldrons)

### 魔神の足跡(くわう穴群)

(ニツネカムイ・オ・ラオシマ・イ)

現在地から約500m

※近くで見ることができません。



Sword Scar

### 刀痕

(エムシケン)

現在地から約500m

英雄神サマイクルがつけた刀痕

※近くで見ることができません。



Stone Weir

### 築柵

(デシ)

現在地から約1,700m

魔神ニツネカムイが投げた大きな岩

※近くで見ることができません。



現在地  
You are Here

神居古潭トンネル  
Kamuikotan Tunnel

Stone Circle

### ストーンサークル

石が環状に並べられた遺跡で、縄文時代  
のものと言われています。

※付近に横断歩道がないため、注意が  
必要です。山道を登ります。

※この地図で示す範囲外の場所になります。



バス停(夢観職音節)  
Bus Stop



国道12号  
National Route 12

12



## 神居古潭の地形

神居古潭の険しい谷は、大雪山系の山々を水源とする石狩川が壁のようにそびえる山地を削ってできた唯一の通り道です。

アイヌの人々は丸木舟で、明治以降は鉄道などで、人々は上川盆地と石狩平野をつなぐこの谷を利用して行き来してきました。



## 神居古潭の岩石

神居古潭峡谷は、玄武岩質緑色片岩や泥質片岩・石灰質片岩・珪質片岩などの結晶片岩からなる変成岩と蛇紋岩で構成され、「神居古潭変成帯」と呼ばれる地質帯のほぼ中央に位置しています。

神居古潭の変成岩は、北海道が現在の形になる前の白亜紀(1億5000万年前～6600万年前)に、アジア大陸東縁の地下深くに沈み込んだ低温の海洋プレートの岩石が高压下で変成したもので、典型的な低温高压型の変成岩として知られています。

神居大橋の下には、玄武岩質緑色片岩と波のように曲がりくねった構造(褶曲構造)を示す石灰質片岩が露出しており、神居古潭変成岩がプレート運動による圧縮力で強く変形して隆起したことを物語っています。

※神居古潭変成岩は、平成19年(2007年)5月に日本の地質百選に選定されています。



〈神居大橋の下に岩石〉



## 指定文化財

### ◆神居古潭おう穴群〈旭川市指定文化財(天然記念物)〉

おう穴とは、岩のくぼみに入り込んだ小石が水流で回転し、岩を掘り下げた円筒形の穴のことで、急流や滝つぼなどで見られます。神居古潭には、石狩川の流れて形成されたおう穴が大きく分けて7つの群を成して分布しており、巨大なおう穴は、アイヌの伝説では魔神(ニツネカムイ)の足跡とも言われています。

### ◆旧神居古潭駅舎〈旭川市指定文化財(建造物)〉

神居古潭駅は、明治34年(1901年)に簡易停車場として設置され、同36年に神居古潭駅となりました。駅舎は明治43年(1910年)に建設され、昭和44年(1969年)まで利用されてきました。明治期の貴重な駅舎建築として平成元年に廃駅時の姿形をもとに復元が行われました。

### ◆神居古潭竪穴住居遺跡〈北海道指定文化財(史跡)〉

竪穴二百数十基とチャシコツ(竈跡)1か所が存在しています。住居は、一辺が約5メートルの正方形で、深さ約1メートル、内部には炉、カマドが作られていました。

主な遺物には擦文土器、紡錘車などがあり、奈良時代の末期から平安時代にかけて使用されていたと考えられています。



## 神居大橋

神居大橋は、滝川から旭川まで上川鉄道が開通した明治31年(1898年)に、神居古潭に初めて移住した安藤彦松、次いで移住した岡和田仁太郎らの協力により建設されました。現在まで複数回の改修を行いながら、旭川市で唯一現存する人が通れる吊橋として利用され続けています。

## アイヌの伝承～魔神伝説～にまつわる岩



魔神の頭  
(ニツネカムイ・サバ)



魔神の胴体  
(ニツネカムイ・ネトバケ)



魔神の足跡(おう穴群)  
(ニツネカムイ・オ・ラオシマ・イ)



刀痕(英雄神がつけた刀痕)  
(エムシケシ)



籠(魔神が投げ入れた岩)  
(デシ)



神居岩(英雄神の岩)  
(クツネシリ)



交通の難所だった神居古潭では、毎年人々の安全を祈る儀式「カムイノミ(神に祈る)・イナウ(祭具の一つ)」が行われています。